

平成26年度 学校教育目標設定報告書

学校番号 121 学校名 千葉県立鶴舞桜が丘高等学校 課程名 全日制

領域	重点目標	具体的方策 (具体的な取組, 手立て)	評価項目・指標 (評価方法・評価基準)
学校経営	1 専門高校の特色を生かして、活気に満ちた教育活動を推進する。 2 地域の期待に応える魅力ある開かれた学校づくりを推進する。 3 学校の魅力を確実に周知する広報活動を推進する。	① ホームページ内容の定期的な更新を行い、最新情報を提供する。 ② 地域の特徴を生かした新しい取組・教育（コース等）について推進し、生徒の確保に取り組む。 ③ 地域の公共機関と連携した地域貢献活動、学校開放講座、ボランティア活動の実施。 ④ 10周年記念誌の編集と緑地管理コース設置のPRポスターを作成。1日体験入学の複数回実施。	① ホームページの掲載内容と更新状況の確認。 ② 一日体験入学や学校説明会への参加状況 ③ 開かれた学校づくり委員による学校の評価や開放講座の実施回数、参加状況。 ④ 中学校訪問や1日体験入学の複数回実施による生徒の参加状況。
学習指導	1 生徒の実態に即した指導内容の精選、指導目標の明確化や目標に応じた授業構成・展開の工夫などの改善に努める。 2 各種検定等の資格取得を積極的に奨励するとともに、専門高校生として自信と誇りを持たせる。	① 生徒による授業評価アンケートを行う。 ② 生徒個々の進路実現に向けて、基礎基本を重視した内容を授業の中に取り入れる。 ③ 補習等を行い、各種検定に向けて取り組む。 ④ 全教科で校内研究授業を実施し、教科内での研修を行う。	① 生徒による授業評価の結果 ② 各教科における基礎的内容の指導の徹底とキャリア授業評価の結果。 ③ 各資格の取得状況。 ④ 校内研究授業・研修の実施回数とその状況。
生徒指導	1 生徒の自立性を高めるとともに、よりよい社会生活ができるよう基本的生活習慣の確立を図る。 2 授業中のマナー・モラルの向上に努める。	① 登校・下校指導を通して、服装・頭髪の指導を行い、自立心のあるきちんとした社会生活ができるように生徒を育成する。 ② 定期的な個人面談の実施とスクール・カウンセラーを活用する体制を整える。 ③ 授業に臨む姿勢ができていないかアンケートを行う。	① 登校指導・下校指導における記録の内容確認。 ② 個人面談の実施状況とスクール・カウンセラーの活用状況。 ③ 生徒による授業評価の結果。
キャリア教育	1 それぞれの学年に応じた支援を行い、正しい職業観、勤労観の育成を目指し、進路の実現へ向ける。 2 インターンシップなど体験を重視したキャリア教育を行う。	① 卒業生や地域、企業等から講師を招いて進路説明会を行う。 ② 地域の企業と連携して職場体験学習を行う。 ③ キャリア授業による基礎的能力を身に付けさせる。	① 進路説明会の実施回数とその状況。 ② 職場体験学習の日数と受け入れ企業の評価。 ③ キャリア授業の評価結果。
特色ある教育活動	教科「福祉」やボランティアを通し、心豊かな人間の育成を行う。	① 福祉選択者の介護養成研修への参加と地域の施設との連携作業により行う。 ② 地域の清掃活動や地域の施設へのボランティア活動を行う。	① 介護職員初任者研修の取得状況。 ② ボランティア活動の実施回数と地域からの具体的な評価。

(第2号様式)

平成26年度 学校評価年間計画書

学校番号 121 学校名 千葉県立鶴舞桜が丘高等学校 課程名 全日制

時期	開かれた学校づくり委員会 (学校関係者評価)	評価委員会の動き (自己評価)	生徒・保護者・地域対象の活動 (情報提供)
4月			
5月	第1回会議 ・今年度の目標 ・活動計画 ・委員会委員の決定	↓ ・今年度の重点目標 ・アンケートなど具体的な方策 ・指標等の設定 ・学校評価年間計画書の作成 県教育委員会への報告	始業式 入学式・PTA理事会 など
6月	委員による授業 参観、対話	授 業 公 開 職員相互の授業参観	PTA総会 面談週間による 行事参加 アンケートの実施
7月		第1回 保護者の評価の実施	
8月		↓	
9月		集約および報告	
10月	第2回会議 アンケートの途中経過の報告と改善方策の検討	学 校 公 開 (文化祭)	保護者による行事参加 及び対話の実施
11月			
12月		第2回 職員・生徒の評価の実施	
1月		実施したアンケートの集計 ・分析と改善方策の検討	
	第3回会議 学校自己評価の結果と改善方策について評価	教科・分掌・学年 職員会議	
2月		学校評価のまとめ	終業式 HPにより公表
3月	HPまたは郵送により報告	県教育委員会への報告 分析に基づく次年度の目標設定と学校改善	

平成26年度 学校評価実施報告書

学校番号 121 学校名千葉県立鶴舞桜が丘高等学校 課程名 全日制

領域	自己評価の結果 (達成状況, 結果の分析)	改善方策 (自己評価の結果を踏まえた課題・改善の方向)
学校経営	①ホームページについては、各行事毎に画像や記事も多く取り入れ随時更新できた。 ②進路決定率は概ね良好である。1年次からの継続的な指導の結果である。また、新教育課程、学校設定科目の具体的な内容についてもまとめることができた。 ③農業や情報処理、ボランティア活動など、地域や公共機関と連携した活動を実施し好評であった。 ④授業や研修を通じて、風の丘分校と本校の職員を中心に交流と協力も深まった。	①更新内容について、より充実した新しい内容のアップを検討していきたい。 ②進路意識の高揚と、専門高校の特色を生かせる進路先の開拓を積極的に行う。 ③地域に直接貢献できる体制や活動方法を構築していく。 ④本校生徒の実態を踏まえて、教育効果が高まる研修を企画・実施する。
学習指導	①授業の取組に関しては、10月に実施した生徒アンケートの結果、自己評価は65%から77%に上昇。 ②各教科ごとにTTや習熟度別授業などにより、基本重視の授業を展開した。 ③各検定試験前には授業を含め補習授業を積極的に実施し、それぞれに結果が出ている。 ④校内研究授業はPTA総会時、さらに「春季・秋季授業研究週間」(各1週間)を新設。全ての授業を公開とし、職員の授業に対する意識向上や授業方法の改善に役立った。	①全校体制で、興味・関心の持てる授業の展開と同時に、生徒には自学・自習を含めた、積極的な学習態度を身に付けさせる。 ②生徒の意欲を掻き立てる教材を精選し作成する。 ③補習時間を確保する。 ④実施後の反省会や、教科内外の職員との意見交換の機会や時間を多くする。
生徒指導	①毎朝の服装・頭髪を含めた生活全般の指導を実施。また、昨年度設立した『本校を、やる気のある人が選ぶ学校』にするためのプロジェクトの趣旨を継続し、改善もみられる一方、指導の徹底には課題もある。 ②校内に生活相談箱「気持ちを伝える箱」を設置し、担当者が随時、個人面談などを実施。カウンセラーとの相談も随時実施。 ③生徒アンケートの結果、学校生活全般の満足度については60%から80%に上昇。部活動の満足度は35%から56%に上昇。	①学校全体での指導という観点を、改めて考えることで、やや形骸化した部分を正す。基本的な生活の再確認という意味で、しっかり指導する。 ②生徒の悩みなど積極的に聞き、早い対応ができるよう、カウンセラーを含めた相談体制を充実させる。 ③生徒が魅力を感じられる学校づくりに心がける。部活動の加入率の増加に向け、更に力を入れる。
キャリア教育	①全学年でそれぞれに進路説明会を実施。生徒の進路意識が少しずつ変わってきている。 ②希望生徒にはインターンシップを実施。 ③キャリアビジョン授業を実施し、少人数制で1年生の基礎力向上を図った。	①具体的な進路のイメージがつかめない生徒も多く、実践的な説明会を増やす。 ②進路部と学年が協力体制をさらに強め、積極的にインターンシップを行う。 ③3年間を見通した基礎力のアップをさらに進める。
特色ある教育活動	①福祉選択者の介護養成研修や地域施設との連携による介護実習を実施。 ②毎月、ボランティア活動として、地域の清掃活動等を実施。	①福祉への関心を高めさせ、研修や実習を充実させる。 ②ボランティア活動への関心を高めさせ、多くの生徒に参加を促す。

(第3号様式-2)

学校評価の公表について (手段・時期等)	1月の第3回開かれた学校づくり委員会で学校評価等を公表した。 3月9日以降に、ホームページにアップし学校評価等を公表する。
-------------------------	--

領域	学校関係者評価の結果	学校評価のまとめ
学 校 経 営	<ul style="list-style-type: none"> ①ホームページの随時更新とまちコミメール配信により、学校の情報が得やすくなった。 ②進路指導は、専門高校の特色を生かして好結果を出している。 ③開放講座や地域との連携した活動にも積極的に取り組んでおり評判も良い。 ④学校の取り組みがまだ地域に広く伝わっていない面がある。広報活動については、さらに工夫しアピールしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①情報発信として、ホームページとまちコミメール配信をさらに充実させ、更新内容を精選し確実に行う。 ②1年次から継続的な指導を重ね、専門高校の特色を生かした進路決定の強化を図る。 ③地域との連携を深め、これまで以上に地域貢献に努める。 ④町会の回覧板、学校の掲示板、公的機関の広報等を使って、学校の活動や取り組みをさらにアピールしていく。
学 習 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ①授業や学校生活への生徒の満足度が60%から80%に上がった。また、保護者のアンケートでは、数年90%以上が満足しており、生徒の指導にも結果が出てきている。 ②学力が低下傾向にあると聞き、心配しているが、様々な取組を実践している点は評価できる。 ③資格取得検定試験の好結果は非常に評価できる。さらに伸ばしてほしい。 ④研究授業については、スキルアップのためにも回数を増やしてもよいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ①授業取組については、生徒が興味・関心を持てる授業を行い、併せて積極的に授業を受ける態度を身に付けさせる。 ②生徒の実状に合った授業のあり方を研究実践し教材の精選を行う。 ③授業とのタイアップも含めて、検定試験対策はさらに充実させる。 ④さらに研究授業の回数を増やし、教科の枠を越えた参観・評価の実施をしたい。
生 徒 指 導	<ul style="list-style-type: none"> ①ほとんどの生徒は、きちんとした生活を送っているという印象が強い。家庭の積極的な学校への協力をお願いしたい。 ②生徒理解につながる取組にも着手しており良い結果を期待する。 ③学校生活に関しては、保護者アンケートの評価は90%前後と高い。生徒の意欲や意識を高める指導をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①全職員が共通理解のもと、家庭とも連携を取り、継続してしっかりと指導する。 ②全生徒に意見箱の設置意義と利用を指導し、個々の問題解決にあたる。また、モラールアップ研修を継続実施する。 ③学校行事や部活動の充実を含め、生徒の納得できる指導を行って、生徒が充実感を味わえるように取組む。
キ ャ リ ア 教 育	<ul style="list-style-type: none"> ①職業に対する早期の意識付けは重要である。実体験を含めた指導を進めてほしい。 ②地域や卒業生にも協力を求め、インターンシップを積極的に行ってほしい。 ③基礎力向上には力を入れてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①専門高校の特色を生かし、資格取得を勧め進路に役立たせる。また、基本的なマナーや高校生としての知識・教養なども身につけさせ、将来設計につながる指導を行う。 ②地元志向が強いため、地域や卒業生と関わりのある職場に協力を依頼し、積極的にインターンシップを実施し、将来に目を向けさせる。 ③キャリアビジョン授業の実施で、来年度レベルアップをはかる。
特 色 あ る 教 育 活 動	<ul style="list-style-type: none"> ①福祉コースについては、資格取得のメリットを前面に出して、生徒募集に活用してほしい。 ②毎月のボランティア活動は、地域にも定着しつつあり、評判も良く継続をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「福祉」を本校の特色として、しっかり広報し、確実に資格を取得させ、即戦力となる生徒を育てる。 ②さらに多くの生徒の参加を呼びかけ、積極的に活動する雰囲気を作る。